

別紙

# 新たな「東北電力グループDX推進方針」の全体像

---

# 東北電力グループの 経営戦略におけるDXの位置づけ

よりそう*next*<sup>PLUS</sup>で掲げる財務目標の達成や経営基盤の強化を加速させ、中長期ビジョンにおけるありたい姿の実現を目指すべく「DX推進方針」を改定いたしました。

## 中長期ビジョンにおける 2030年代のありたい姿

東北発の新たな時代の  
スマート社会実現に貢献し、  
社会の持続的発展とともに成長する  
企業グループ



# 東北電力グループDX推進方針 ～DX北極星と3つの柱～

東北電力グループ全体で目指すべき指針を”DX北極星”として設定し、財務目標の達成・経営課題解決のため、「人財価値最大化」、「安全・技術継承」、「収益拡大」を3つの柱に据え、DXによる変革を加速してまいります。

東北電力を  
取り巻く課題

労働人口の減少

財務基盤が回復途上

不透明な経済先行き

DX北極星

「あらゆるビジネスシーンで  
最新のデータ・デジタル技術を最大限活用する」を  
DXの目指すべき指針「北極星」とし課題解決を目指す

## 人財価値最大化

業務の断捨離・業務  
プロセス改革を推進し、  
既存業務の自動化・  
省力化を実現



## 安全・技術継承

伝承すべき“匠の技術”に加え、  
ロボットや自動化技術を  
活用し、現場作業の高度化と  
安全性を確保



## 収益拡大

お客さまデータの拡充・  
ナレッジ蓄積により  
お客さま視点のサービスを  
提供し、選ばれる企業へ



北極星を  
支える  
3つの柱

DXを実現  
するための基盤

セキュリティ・ガバナンス

DX人財

## 価値創造のしくみ ～新たな「東北電力グループDX推進方針」の全体像～

現状の経営課題解決に向けて、DXによる価値創造を推進することで、「**よりそうnext**<sup>東電グループ</sup>」で掲げる財務目標等の達成に貢献し、中長期ビジョンにおける2030年代のありたい姿の実現を目指すとともに、当社グループで培ったDXの成果を地域に広く展開し、地域課題の解決に貢献してまいります。

DXで解決する  
経営課題

労働力不足

技術継承

労働災害

電気の競争力維持・向上

設備増加

DX・ITで収益拡大

### 価値創造ストーリー

DX実行モデルに対して、DXパッケージを適用し、  
価値創造を推進します。

#### DX実行モデル

AIやデータ活用による業務・ビジネスプロセスの変革

#### DXパッケージ

効率化・自動化・高度化を実現するDX施策群

セキュリティ・  
ガバナンス

ルールを整備し、  
AI・データを安全に運用

DX人財

当社グループ全体の3割以上の  
社員をDX人財にし、実行を加速

※全社員にデジタル基礎教育を実施

経営課題を  
3つの柱で整理し、  
DX推進目標を設定

人財価値  
最大化

安全・  
技術継承

収益拡大

2030年度に  
目指す水準  
連結経常利益  
2,000億円  
以上

中長期ビジョンにおける  
2030年代のありたい姿  
東北発の新たな時代の  
スマート社会実現

# DX推進体制とDX人財育成

これまで、DX推進体制を段階的に強化してまいりました。  
 今後は、新たな「DX推進方針」の下、DXの実効性を高めるための次のステージに踏み出します。

## これまでの歩み



## DX推進体制



## DX人財育成

	2025年度(実績)	2030年度(目標)
全社DX推進者	20人	50人
高度データアナリスト	20人	50人
部門DX推進者	350人	1,300人
DXリテラシー社員	2,090人	6,000人

+

東北大学とのDX人財育成に向けた産学連携協定の締結  
 他社とのAIパートナーシップの締結など、外部との連携も強化

## 事業・現場起点での変革

- 各部門、グループ企業向けセミナーの開催
- 各職場にDXリーダーを配置し、ボトムアップでの変革も推進